

伊勢湾貧酸素情報（第 2 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度が低下しており、広い範囲で 2 ppm以下の貧酸素水塊が形成されています。

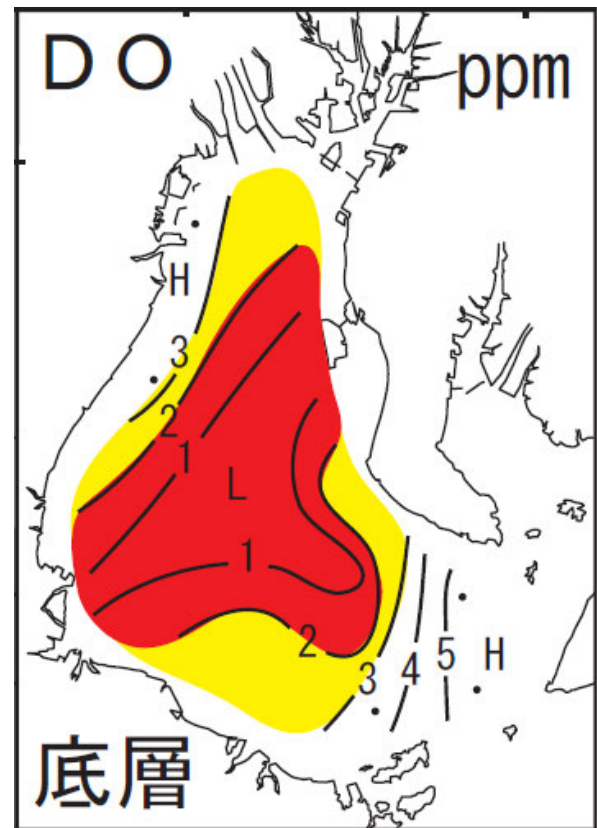
7 月 1 0 日の調査結果

7 月 10 日の調査船「あさま」の定線観測（速報値）によると、水温は表層で 22.3～27.1℃、10m で 18.9～21.7℃、底層で 15.8～21.1℃の範囲にあり、表層は平年より高め、10m と底層では平年並となっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で 5.5～11.1ppm、10m で 1.5～6.2ppm、底層で 0.1～5.7ppm の範囲にあり、表層と 10m は平年よりやや低め、底層では平年並となっていました。

底層では湾中央部を中心に広い範囲で 2ppm 以下の貧酸素水塊が形成されており、1ppm 以下の水域が拡大するなど、先月の観測時より貧酸素化が進んでいました。

この時期は表層と底層の水温差が大きいことなどにより、海水の上下混合が起こりにくく、今後も貧酸素状態は継続するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図